

神崎町の自然を歩いて満喫！

駅からハイキング

好天に恵まれた4月29日、緑あふれる自然と歴史を大勢の方にPRできるJR東日本主催（神崎町協力）の「神崎レンゲの花ハイキング」が開催され、県内外から約1,100人が本町を訪れました。今回で6回目を迎えるこのイベントは、JR下総神崎駅をスタート&ゴールとし、おかべ観音、わくわく西の城、神宮寺、天の川公園、神崎神社など町内の名所等をめぐる約11kmのコース。

参加者は、のどかな田園風景や一面に咲き誇るレンゲの花に心を和ませ、ウォーキングを楽しみました。コース沿いでは休憩所に設けられた飲食のもてなしや地元特産品販売が行われ、さらにゴールの駅での抽選会で、お土産を手にして、神崎での1日を満喫していました。



神崎神社でひと休み



のどかな田園風景を見ながら散策



レンゲ畑と神崎大橋を望む



新緑の並木遊歩道を抜けて

東京や船橋から田植えを体験

生産者と消費者との交流

4月30日、古原地先の椿一二さんの水田に都内の中学2年生が田植え体験に訪れ、また、5月8日、（有）こうざき自然塾（代表鈴木一司さん）が神宿地先の水田に都市の家族連れを招いて田植え体験が行われました。

農家の方が先生役となり、苗の植え方を指導した後、作業がスタート。裸足になって水田に入り、稲の苗を植える作業は初めての体験。大きな歓声とともに泥んこになりながら、楽しく農業を体験しました。



バスで田植えにやってきた160人の中学生が古原地先の水田（写真：上）・お父さんと一緒に田植え体験は神崎神宿地先の水田（写真：下）